

## がん対策推進計画を推進するための都道府県の取組の進捗状況の評価結果（愛媛県）

実績		実績		実績	
実績		実績		実績	
愛媛県がん対策推進委員会について					
開催回数	平成 22 年度 2 回開催（8 月、11 月）				
委員に占めるがん患者・家族の割合	7.7%（26 名中 2 名が患者団体の代表者）				
1. がん医療の均てん化					
主な目標		計画策定時（平成 19 年度）	現状（平成 22 年度）	目標（平成 24 年度）	
①がんに関する相談支援及び情報提供					
すべてのがん診療連携拠点病院の相談支援センターにおける、がん対策情報センターによる研修修了者の配置	7 病院中 2 病院		7 病院中 7 病院	全拠点病院で配置	
がん診療連携拠点病院におけるがん患者団体との連携協力体制の整備	7 病院中 4 病院		7 病院中 7 病院	全拠点病院で実施	
②緩和ケア及び在宅医療の推進					
がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームにおいて身体及び精神の緩和に携わる医師の配置	7 病院中 4 病院		7 病院中 7 病院	全拠点病院で配置	
すべてのがん医療に携わる医師の緩和ケアの基本的知識の習得（緩和ケア研修会受講者）	0 人		388 人 （平成 22 年 10 月現在）	がんに携わるすべての医師 増加	
がん患者の意向を踏まえ、住み慣れた家庭や地域での療養を選択できる患者数の増加	がん患者の在宅での死亡割合 7.1%（平成 17 年）		がん患者の在宅での死亡割合 8.0%（平成 21 年）	増加	
在宅療養支援診療所数の増加	161 か所		177 か所 （平成 22 年 10 月現在）	増加	

主な目標	計画策定時（平成19年度）	現状（平成22年度）	目標（平成24年度）
③医療機関の機能強化と医療連携体制の整備			
すべてのがん診療連携拠点病院において放射線療法及び化学療法を実施する体制の整備	7病院中6病院	7病院中7病院	全拠点病院で整備
県がん診療連携拠点病院及び特定機能病院における放射線療法及び化学療法専門分野の設置	2病院中2病院	2病院中2病院	該当拠点病院で設置
5大がんに関する地域連携クリティカルパスの整備	7病院中0病院	7病院中4病院	全拠点病院で整備
④医療従事者の育成			
放射線療法、化学療法、緩和ケア等の各分野において、学会等の資格を持つ医療従事者の増加(※)	54名	156名 (平成22年8月現在)	増加
⑤がん登録の精度向上			
すべてのがん診療連携拠点病院において、がん登録の実務を担う者が必要な研修を受講	7病院中6病院	7病院中7病院	全拠点病院で配置
地域がん登録の推進によるDCO率の低下	58.4%（平成14年）	(調査中)	20%以下

(※)日本放射線腫瘍学会認定医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、がん治療認定医、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、日本病院薬剤師会がん専門薬剤師、日本放射線治療専門技師の資格を持つ医療従事者の合計数

2. がんの予防

主な目標		計画策定時 (平成 19 年度)	現状 (平成 22 年度)	目標 (平成 24 年度)
①たばこ対策の推進				
未成年の喫煙率		男子 13.2%、女子 7.7% (中学生・平成 15 年)	男子 4.6%、女子 3.6% (中学生・平成 21 年)	0%
成人の喫煙率		男性 37.7%、女性 4.2% (平成 16 年)	調査中	男性 20%以下 女性 2%以下
完全分煙の公共施設の割合		市町の施設 47.1%、 事業所 64.8%、飲食店 5.7% (平成 16 年、17 年)	市町の施設 93.3%、 調査中	100%
全市町での禁煙プログラムの提供		23 市町中 6 市町 (平成 17 年)	20 市町中 6 市町	全 (20) 市町
喫煙の健康影響を認識している人の割合		胃潰瘍 19.5%～肺がん 93.8% (平成 16 年)	調査中	100%
②栄養・食生活の改善				
野菜の摂取量 (1日あたり)		成人 284 g、 児童・生徒 241 g (平成 16 年)	調査中	成人 350 g 以上 児童・生徒 300 g 以上
果物の毎日摂取		成人男性 70.7%、 成人女性 77.9% (平成 16 年)		成人男性 75%以上 成人女性 80%以上
脂肪エネルギー比率		成人 29.1%、 児童・生徒 30.1% (平成 16 年)		成人 25%以下 児童・生徒 27%以下
バランスのとれた食事をしている人の割合		成人男性 70.9% 成人女性 74.0% (平成 16 年)		80%以上

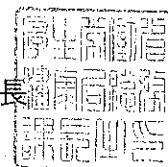
3. がんの早期発見

主な目標		計画策定時 (平成 19 年度)	現状 (平成 22 年度)	目標 (平成 24 年度)
①がん検診受診率の向上				
検診受診率 ・ 胃がん ・ 肺がん ・ 大腸がん ・ 子宮がん ・ 乳がん	(市町によるがん検診受診率)	(平成 17 年度) 14.0% 19.6% 19.0% 16.7% 20.2%	(平成 20 年度) 10.2% 11.3% 13.5% 15.1% 2.5% 〔マンモグラフィのみを含めた受診率は、17.7%〕	全てのがん検診において50%以上
②要精検者の精検受診率の向上善				
精密検査未受診率 (市町によるがん検診精検未受診率) ・ 胃がん ・ 肺がん ・ 大腸がん ・ 子宮がん ・ 乳がん		(平成 17 年度) 16.4% 12.8% 25.5% 17.7% 9.5%	(平成 20 年度) 7.9% 3.0% 14.6% 22.4% 4.0%	全てのがん検診において精密検査受診率100% (精密検査未受診率 0%)
③がん検診精度管理体制の確立				
がん検診の精度管理、検診情報の分析評価、予防に関する検討を実施	がん検診の精度管理、検診情報の分析評価、予防に関する検討を実施	県生活習慣病予防協議会で実施	県生活習慣病予防協議会で実施中	全市町で精度管理・事業評価、指針に基づくがん検診を実施
検診従事者の資質向上を図るための講習会等を開催	検診従事者の資質向上を図るための講習会等を開催	県医師会に委託して開催	県医師会に委託して開催中 (順次受講中)	全ての検診従事者が受講
④がん対策推進員の育成				
地域におけるがん対策の推進のため、がん対策推進員を育成	がん対策推進員を育成	推進員 0 人	推進員 4,300 人 (平成 22 年 10 月末現在)	推進員 10,000 人

健総発第0318002号  
平成21年3月18日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局総務課長



「がん対策推進計画を推進するための都道府県の主な取組」の  
作成について

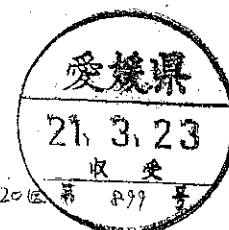
がん対策基本法（平成18年法律第98号）第11条の規定に基づき、がん対策推進計画（以下「計画」という。）が、大部分の都道府県において策定されたところであり、計画に記載されている施策のうち、「がん医療」、「たばこ対策」及び「がん検診」に係る3つの取組については、特に都道府県が主体となって取り組むことが必要不可欠な分野とされているところである。

このため、当該取組のための具体的な対処方針を、別添の「がん対策推進計画を推進するための都道府県の主な取組」（以下「取組」という。）を参考として作成する等により、都道府県が主体となってがん対策のより一層の推進に取り組まれるようよろしくお願いする。

「取組」の作成にあたっては、地域の実情に即した目標項目及び到達目標を定めるほか、都道府県、市区町村、医療機関、職域、住民、がん患者及びその家族といった、実施主体別の取組を併せて定めるとともに、その作成や進行管理については、各都道府県に設置されているがん対策に関する協議会等の意見を聴きながら実施するようご配慮方よろしくお願いする。

また、当課において、「取組」の進捗状況を把握するため、「取組」の内容及び進捗状況に関する評価結果を、健康局総務課がん対策推進室長あてに、毎年10月31日までに報告いただくようよろしくお願いする。

なお、本通知は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4第1項の規定に基づく技術的助言であることを申し添える。



(各都道府県からの進捗状況の評価結果についての報告のイメージ)

	実績	
県の協議会について	開催回数	〇回
	委員に占めるがん患者・家族の比率	〇%

到達目標	目標 (平成24年)	実績
がん年齢調整死亡率の減少	全がん年齢調整死亡率 減少率 〇.〇%	全がん年齢調整死亡率 (人口10万対) 〇.〇
	部位別年齢調整死亡率 減少率	部位別年齢調整死亡率 (人口10万対)
	胃 〇.〇%	胃 〇.〇%
	大腸 〇.〇%	大腸 〇.〇%
	肝臓 〇.〇%	肝臓 〇.〇%
	肺 〇.〇%	肺 〇.〇%
	乳房 〇.〇%	乳房 〇.〇%
	食道 〇.〇%	食道 〇.〇%
	胆のう 〇.〇%	胆のう 〇.〇%
	膵臓 〇.〇%	膵臓 〇.〇%
	子宮 〇.〇%	子宮 〇.〇%
	卵巣 〇.〇%	卵巣 〇.〇%
	前立腺 〇.〇%	前立腺 〇.〇%
	膀胱 〇.〇%	膀胱 〇.〇%
リンパ組織 〇.〇%	リンパ組織 〇.〇%	
・緩和ケア研修を行う指導医師数	〇人	〇人
・指針に基づく研修会の終了医師数	〇人	〇人
・在宅療養支援診療所	〇カ所	〇カ所
・がん患者の在宅での死亡割合	〇.〇%	〇.〇%
がん診療連携拠点病院における地域連携クリティカルパス整備率	〇%	〇%
がん対策情報センターによる研修を終了した相談員	〇人	〇人
検診受診率		
胃 (男)	〇.〇%	〇.〇%
胃 (女)	〇.〇%	〇.〇%
子宮	〇.〇%	〇.〇%
乳	〇.〇%	〇.〇%
肺 (男)	〇.〇%	〇.〇%
肺 (女)	〇.〇%	〇.〇%
大腸 (男)	〇.〇%	〇.〇%
大腸 (女)	〇.〇%	〇.〇%
喫煙する者の割合 (男性)	〇.〇%	〇.〇%以下
(女性)	〇.〇%	〇.〇%以下